

令和元年度座談会「町長と語ろうまちづくり」（共和のもりセンター）

開催日時	令和元年10月9日（水）午後7時から午後9時	天気 晴
場所	共和のもりセンター	
町民参加者	男15人 女6人（40代以下2人、50代2人、60代以上17人）	
町出席者	町長、副町長、教育長、参事兼企画政策課長、財務課長、総務防災課長、農林課長、環境課長、事務局2人	

出席者から出た主な意見や提案

《テーマ：山ビル対策》

○ヤマビル対策で塩化カルシウムとマリックスターとリンゴ酢を町から配布していただき、散布を2回実施した。約30名の方が参加していただいた。地域と町が協力してヤマビル対策に取り組んでいることに感謝したい。ただ、1年間取り組んだだけでは成果がでない。

9月後半に大野山で草刈りをしたら多くのダニがズボンに付いた。以前、地域と町と県が協力し、野焼きを実施したことがある。非常に大きな成果があったと感じている。年に1回くらいは野焼きを実施していく必要があると思う。町のホームページ等でボランティアを募り野焼きをしていく事が大事である。

個人でイノシシ対策をしているが、町も含めて対策を実施していかなければならない。

○先日、シカ対策を行った。そうするとシカの侵入は止まった。だが、今度はイノシシが侵入するようになってしまった。シカ対策ではイノシシに効果はない。イノシシやシカ対策の費用がかなり掛かる。費用の面など相談に乗っていただきたい。

○有害鳥獣の駆除対策としては、長期的に考え、有害鳥獣が山で生活できるような山づくりが必要である。大変時間が掛かると考えている。

○前回、野焼きをおこなった時に、野焼き実行委員会のような組織を立ち上げた。県も協力していただいた。県に協力していただいた事は防火隊を作って草刈りを実施していただいた。草刈りの上手な人は共和地区に大勢いる。町から人件費を出していただければ、実施できるので検討していただきたい。

○ヤマビルに血を吸われないようにするのが大事と町長から言われたが、マリックスター等を配布していただいている。人に取りつかないような薬剤も町で配布していただけるように検討していただきたい。

イノシシ対策は、柵を設置するのが第1段階であると思うので、柵設置の費用を検討していただきたい。

○ヤマビルの専門家に調査を実施しようとしたが、台風の影響で白紙になったと言ったが、是非、調査を実施していただきたい。また、専門家にどの動物の血液が好きなのか聞いていただきたい。

《テーマ：鳥獣被害対策》

○イノシシはミミズを食べに儘を崩して来る。地域と町で対策をとって、イノシシやシカが庭等に侵入しないようにするのは当然だが、数を減らす対策をしていかななくてはならない。儘が崩れて土のうを 50 袋や 100 袋を設置する費用や人件費が掛かるので、その費用やうり坊捕獲の許可等を町で協力していただきたい。

○ロケット花火は効果がある。ただ、ロケット花火を使用するとイノシシが逃げる際に茶畑を通過し、荒らしてしまう。一般家庭は良いが、農家は困るので、賛成できない。

○イノシシを追い払うと、他の地区に逃げて行く。新しい対応策を考えていかなければならない。

○シカ柵について、農業や林業をしている方は良いが、一般家庭が混在している地区では、シカ柵を補修すると言ってもなかなか参加していただけない。年々高齢化になり補修しようにも、労力的に補修できない。シカ柵だけでも良いので補修の支援を町でしていただけないか。

《テーマ：防災対策》

○共和西地区の避難所が共和集会所になっている。深沢地区から災害時に共和集会所に避難して来る時に、仲尾沢から洞ノ沢にかけて大きな落石がある。洞ノ沢については、かなりの土砂が流出する。都市整備課が業者を手配し、復旧していただいている。これから、災害時に道が通れるようにお願いしたい。

○災害に強い山作りをし、災害に強い町を一緒に作っていききたい。

○停電をした際に、東京電力の情報が分からない。いつ復旧するのかわからない。具体的に何時間くらいで復旧するのか等、町と東京電力の間で申し入れをしているのか。

《テーマ：その他》

○小田原市斎場が7月からリニューアルしたが、火葬するのに2時間掛かる。今まで、1時間弱で火葬できた。新しくなったのに今までより時間が掛かるのは理解できない。町を通して意見を言っていたきたい。

○共和地区でも新東名の工事をしているが、情報が入ってこない。先日、タウンニュースと町の広報紙で見て情報が入った。四半期に1回など、もう少しこまめに情報提供をしていただきたい。

○大雪の時停電になり情報の入手手段が防災無線の子局しかなかった。携帯電話も使用することができなかった。道路も使えなく移動もできないと完全に孤立してしまう。